

サステナブル（持続可能）経営の実践
「花王×マツキヨココカラ&カンパニー社会貢献企画」
売上の一部を日本財団に寄付

「未来の常識を創り出し、人々の生活を変えていく」をグループ理念に掲げ、全国に 3,400 店舗超のドラッグストア・調剤薬局を展開する株式会社マツキヨココカラ&カンパニー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：松本清雄）は、すべての子供たちが、未来への希望を持ち、これからの社会を生き抜く力を育むことのできる機会と環境を提供する公益財団法人日本財団の事業に賛同し、花王ファブリック対象商品の売上の一部を日本財団へ寄付いたしました。（2022 年度の実施報告）



■花王×マツキヨココカラ&カンパニー企画の概要

世界的なインフレーションで「生活応援」を行うべく、「お客様の生活を応援する」「お買い物をすることで、支援が必要な子供たちに心の手をさしのべる」ことを目的として実施いたしました。

- ・実施期間：2022 年 11 月 1 日～2022 年 11 月 30 日
- ・対象商品：花王アタック ZERO・アタック抗菌・フレアフレグランス・IROKA・ハミング消臭（大容量）
- ・実施店舗：マツモトキヨシグループ・ココカラファイングループ（一部店舗を除く）
- ・寄付先：日本財団 子どもサポートプロジェクト 子ども第三の居場所基金
- ・寄付金：5,500,000 円

今後とも、日本財団の社会支援活動にご理解とご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ニ国目あご寄付、有難く拝受
致しませう。
貴社より有効に活用させていただきます。
心から願っております。

敬具

2023 年 3 月吉日

日本財団
会長



■子ども第三の居場所について

「ご飯はおいしくないからいつもお菓子を食べる」、「夜遅くまでゲームをして疲れたら寝る」、「先生に何を聞いたらいいか分からない」、「家にいるとママに怒られる」食生活や生活リズムの乱れ、学習の遅れやネグレクト等、日本の子どもたちは今、様々な困難に直面しています。

子どもたちの困難は家庭や学校だけでは解決が難しく、そもそも困難が家庭や学校に起因する場合も少なくありません。日本財団は、子どもたちの孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む「子ども第三の居場所」を全国に設置しています。ここでは「生き抜く力」を育むために、小学校低学年のうちに食事や歯磨きといった基本的な生活習慣を整えた上で、自己肯定感や人や社会と関わる力などの非認知能力を高めるプログラムや、発達段階に応じた学習支援を実施しています。

**●当社グループが本件により貢献する SDGs 目標****Find your "!"**
wow**株式会社マツキヨココカラ&カンパニー**

3,400 店舗超のドラッグストア・調剤薬局を中核事業として、全国で展開している東証プライム市場上場企業。子会社としてマツモトキヨシグループとココカラファイングループを擁し、「美と健康の分野でアジア No.1」の企業グループを目指しています。介護事業、インターネット通販事業など幅広く展開しています。

コーポレートサイト：<https://www.matsukiyococokara.com/>

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー グループ経営企画統括 広報室

Tel : 03-6672-7808

mail : mkccpr@matsukiyococokara.com

